

担当部署	健康医療局保健医療部がん・疾病対策課がん・循環器対策グループ 電話 045-210-5025
B-2	石綿肺や中皮腫は治療すれば治りますか。 (令和3年4月1日更新)

**【答】**

石綿肺は不可逆性の疾患であり、一度罹患すると現代の医学では治すことはできません。しかし、じん肺の法的定義では、軽度のじん肺を管理2，中程度を管理3，重度を管理4としています。

したがって、中程度まで(管理2，3)のじん肺に罹患した人に、粉じん作業等に従事させないことにより、重度(管理4)のじん肺に進むことを予防することは可能です。

中程度まで(管理2，3)のじん肺に罹患した人については、他の肺疾患と合併しない限り、粉じんを吸入しない仕事に就業するのであれば特に問題はありません。

一方、限局性・良性の中皮腫は、手術療法で治癒が期待できます。

限局性胸膜中皮腫はほとんどが良性ですが、まれに低悪性度のもの(かつて胸膜の繊維肉腫などといわれていました)があり、これらは通常外科療法で治すことができます。一般には、悪性胸膜中皮腫という場合、びまん性のものをさします。悪性びまん性胸膜中皮腫は、非常に予後不良な病気ですが、これに対する治療には、手術療法、放射線療法、薬物療法(抗がん剤治療)及び対症療法があります。

参考 一般社団法人 JATI 協会

<http://www.jati.or.jp/index.html>

国立がん研究センターホームページ

<http://gan.joho.jp/public/index.html>